



特定非常利活動法人
パートナーシップオフィス
理事 **金子 博** 氏

山形県と酒田市が飛島島
からの切実な声を受けて
始動した「飛島クリーンアップ
作戦」は、昨年、20回目を迎
えた。残念ながら、コロナ対応
による開催延期と台風による中
止が重なり実施できなかった。
公募した県内外のボランティア
にも渡航費用の約半分以上を
負担してもらい、まる1日かけた海岸清掃活動のノウハウは、新潟県の粟島などの他地域での取り組みにも活かされている。また、2009年の「海岸漂着物処理推進法」の制定を後押しした。最近は学生団体の取り組みも加わるなど、海洋プラスチック問題へのモデル的な活動としての評価を受けている。

活動当初、1メートル半程度に積み上がっていた漂着ごみの状況からはかなり改善されたが、継

続した清掃活動は欠かせない。ようやく、ごみの元となるプラスチック製品の使用抑制や廃棄管理などの政策が一步進み始めたところである。飛島での海岸の散策のときには、多数の人々が努力している姿を、いつとき想像してほしい。



▲学生団体の清掃活動



リベリア交流事業① 仁賀保高校NCCスイーツ開発プロジェクト

国旗の郷土料理を勉強。オンライン研修では、青木ゆり子氏（各国・郷土料理となる各市町が参画していて、そっくりな食文化は食べてはいけないことが大切」と話す



研修を受けるNCCの生徒たち

リベリア交流事業② 絵本開発プロジェクト



たくさんのご応募ありがとうございました